

① 個別ケア、利用者本位のケアについて

- ・職員の意識向上に向け、入所者一人ひとりが抱える生活の困難性やその原因の評価調査の質向上を目的として、サービス担当者会議や事例検討会を実施した。
- ・一人ひとり課題の抽出→目標の設定→ケアプランの作成→サービスの実施→評価等のマネジメントを行う中で、本人の心身状態、日常生活動作、行動障害、環境面等、多面的な視点から個別的に本人の現在の状態を分析し、本人理解へとつなげていった。
- ・分析力、気づき力を含めて専門的知識が不足している職員も見受けられることから、今後、本人のレベルに応じた指導を行う必要がある。

資料 1

② ケア理念＝倫理観に基づいた実践について

- ・入所者の人権を守るケアとして虐待及び不適切ケアの問題をこれまで重要視していることから、家族からの訴えに耳を傾けるようにしてきたが、今年度は特に取り上げるような訴えはなかった。これらは、家族の面会者数の減少及び家族自らが遠慮されているものとも考えられる。
 - ・一方、平成27年9月に虐待防止・身体拘束廃止委員会が職員を対象にアンケートを実施したが、入所者に対する乱暴な言葉・無視等の解答が多かった。また、ケアを提供する時、職員の都合をまず優先的に考える等「利用者本位」のケア目標と相反する回答も多く見られた。
- そこで、常に問題提起を行うとともに意識面に働きかけ、ストレスに対する対応を図る必要性を委員会の中で確認した。

③ 職員の資質向上について

- ・今年度も「知は力なり」を目標にして、幅広い研修内容や外部講師（東雲短大の先生、介護労働安定センター等）を招き研修内容の充実に努めた。
- ・今年度は、新人職員も多く入社したため、レベルアップ及びフォローアップ研修を2回実施した。また、新人職員の指導体制の充実を図るために中心的役割を果たす中堅職員の育成にも力を入れた。
- ・更にケアのレベル向上を図る為、専門委員会による活動の充実にも取り組み、課題解決への取り組みやマニュアル作成等を行った。

資料 2・資料 2-1

資料 3

専門委員会の中でも「事故防止対策委員会」の取り組みの重要性が挙げられている。転倒・転落事故も多いが、介護中における骨折事故も起きており、「防げるべき事故」を起こさない対応の徹底も課題として残されている。

また、委員会の活動量に差があることや、1年間を通しての活動の必要性が少ない委員会も存在していることから、課題やケア内容が関連する委員会との統合について声が出ている。

④ チームケアについて

- ・めざすべき理念や目標の意識を統一するとともに職員全体での共有化を図るため、特養全体会議や各部署での会議の定例化を図った。
- ・各部署での会議はそれぞれに抱える問題点の話し合い及び事例検討会も併せた内容となっている。

資料 4

⑤ 家族との連携について

- ・家族会をH27年4月11日に開催
内容は、介護保険制度改定や和光苑のケア目標等の説明、入居者に提供している食事形態の試食会
参加者は、30家族、41名
- ・また、入所者の体調不良、病院受診時等の際に家族へ随時連絡をとり、家族と対応する中で思いの共有化を図り安心感につなげている。
- ・更に3ヶ月に1回、サービス計画書と共に本人の現状を伝える書面を送るなど情報を発信している。

⑥ 施設の果たす社会的な役割、機能について

- ・介護関係、相談援助関係、歯科衛生士等の次の時代を担う実習生の受け入れを積極的に行った。また、実習内容の充実を図るため、それぞれの分野で職員の指導者体制の充実を図りました。

資料 5

- ・今年度も、松山中央高校から授業の一環として介護体験学習も行われ、2年生の各クラスが学生自身が考えた内容を実施した。

資料 1 サービス担当者会議

3カ月毎に、一人ひとりの入所者状態像を把握し、その後の本人の状態に適したケアを提供する為の評価活動で、「個別ケア」・「利用者本位」のケアを進める為に重要な位置付けとなる。

実施月	実施日数（日）	実施人数（人）	備 考
平成27年 4月	14	26	・主な内容 課題分析 要望、課題 ・ケアの目標 サービス内容等の 適切性及び本人家族 の満足度
5月	15	22	
6月	11	27	
7月	16	34	
8月	13	26	
9月	11	25	
10月	15	35	
11月	18	30	
12月	16	29	
平成28年 1月	14	28	
2月	14	22	
3月	16	37	
合計	173	310	
月平均	14.4	25.8	

資料 2 施設内研修

	月/日	研修内容	講師	参加人数	
				特養	新館
平成27年	4/30	排泄ケアについて			
	5/9	救命講習	南消防署隊員	29	
	5/27	事故防止対策		13	5
	6/24	事例発表会「認知症BPSDへの対処について」		15	6
	7/2	新人職員研修	東雲短大先生2名		
	7/22	感染症対策について		10	3
	8/28	腰に負担がかからない移乗動作介助法			
	9/17	新人職員フォローアップ研修	東雲短大先生2名		
	9/23	褥瘡ケア			
	10/28	看取りケア		9	2
	11/25	権利擁護対策		8	5
	12/17	リーダー（中堅職員）スキルアップ研修		4	
	12/23	感染症について		13	7
平成28年	1/29	事故防止対策について		16	9
	2/26	事例発表会「支援困難なケースへの援助事例」		14	9
	3/30	褥瘡対策		10	8
	3/31	新人職員介護業務スキルアップ研修	東雲短大先生2名	6	

	月／日	研修名	主催	人数
平成 27 年	4/6	新人職員合同研修	愛媛信用金庫	6
	6/13	介護支援専門員研修		2
	7/4	えひめ排泄ケア研究会		
	7/13	介護技術向上講習会		2
	7/15	県社協中堅職員研修会		1
	7/20	介護事故ゼロへの対策		2
	7/22	介護技術向上講習会		1
	7/23	口腔ケアの重要性に関する医科・歯科合同講演		2
	8/19	介護技術向上講習会		1
	9/19	えひめ排泄ケア研究会		4
	10/17	ユニットリーダー研修		2
	10/19	職場づくりと人材育成		2
	11/3	認知症勉強会		3
	12/11	適切な介護記録の作成研修		1
平成 28 年	1/11・17・ 24	県社協スキルアップ研修		1
	1/18～20	介護福祉士実習指導者研修		1
	3/7	嚥下予防について		1
	3/22	口腔ケア講習会		2
	3/26	えひめ排泄ケア研修会		2

事故防止対策	H27. 5. 24 年間目標の設定 H28. 3. 28 施設内研修のすすめ方について
感染症対策	H27. 11. 16 法) 感染症会議 県の感染状況及び各部署からの報告・今後の対策について
虐待防止・身体拘束廃止	H27. 7. 27 マニュアルの見直し及び各部署へのアンケート実施 結果報告
褥瘡	H28. 3. 17 褥瘡の発生状況報告・27年度の活動の振り返り H27. 12. 16 褥瘡発生状況報告 H27. 8. 17 活動報告内容の討議 H27. 6. 6 マニュアルの見直し及び具体的活動内容について
食事口腔ケア	加算習得要件による月毎の開催を実施 歯科衛生士より口腔ケアの指導等を受ける。 各部署からの状況等を定期的に報告している
排泄ケア	H27. 7. 23 パッド等の当て方の見直し等 H27. 4. 14 年間目標等について
看取りケア	H27. 10. 14 施設内研修の打ち合わせ H27. 8. 15 マニュアルの見直し・3ヶ月及び年間目標等
苦情相談	H28. 3. 19 苦情（心理的虐待）についての対応について H27. 12. 19 苦情相談の発生状況等の確認 H27. 7. 3 同上 H27. 5. 18 年間目標及びマニュアルの見直し

資料4 会議関係

	月／日	部 署	内 容
平成 27 年	5/7	看護職員との話し合い	
	5/12	特養全体会議①	H 2 7 年度事業計画の報告等
	5/15	3F 会議	日常業務の見直し及び確認
	5/20	特養全体会議②	H 2 7 年度事業計画の報告等
	5/29	特養全体会議③	H 2 7 年度事業計画の報告等
	5/31	新館会議	(事例検討会含む) 本年度の基本方針の確認
	6/18	特養 (2 F) 会議	口腔ケアの見直し及び意思統一等
	7/30	特養 (3 F) 会議	事例検討会含む
	7/30	新館会議	(事例検討会) 敬老会、新年会及び和光苑まつり等の行事を行うに当たっての会議の開催も随時実施している。
	9/29	新館会議	洗濯物の出し方等
	11/7	特養 (3 F) 会議	事例検討及び新人職員の指導等について
	11/16	法) 感染症会議	
	11/27	新館会議	事例検討会含む
平成 28 年	1/31	新館会議	特に対応が必要な方の情報と対応策の検討及び共有化
	2/9	2 F 会議	日常のケアの見直し

資料5 実習関係

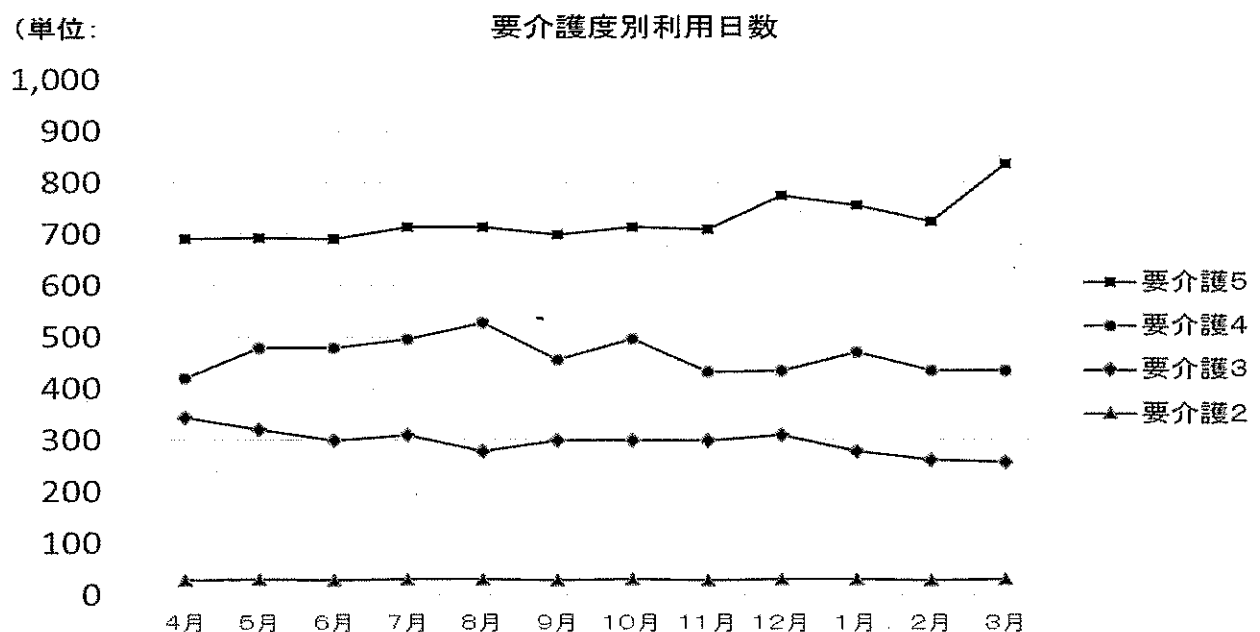
	期 間	実習内容	学校名	人数
平成 27 年	5/7～6/3	相談援助実習	四国中央医療福祉総合学院	1 名
	5/25～6/12	介護福祉	東雲短大	3 名
	6/9～7/17	歯科衛生士	歯科衛生士専門学校	8 名
	6/15～7/27	相談援助実習	四国中央医療福祉総合学院	1 名
	6/22～7/18	介護福祉	河原医療福祉専門学校	4 名
	8/10～24	介護福祉 -	松山城南高校	
	10/5～11/6	相談援助	河原医療福祉専門学校	3 名
	10/12～11/14	介護福祉	河原医療福祉専門学校	

資料6 入退所者数の状況
(単位：人)

		1日現在の 入所者数	月内の移動		当該月 延人数
			入所	退所	
平成27年	4月	50	1	1	51
	5月	50	2	3	52
	6月	49	1	0	50
	7月	50	0	0	50
	8月	50	0	0	50
	9月	50	1	1	51
	10月	50	0	1	50
	11月	49	1	1	50
	12月	49	1	0	50
平成28年	1月	50	1	1	51
	2月	50	0	0	50
	3月	50	1	0	51

《入 所》		特 養	《退 所》	
家庭	4名		他施設	4名
介護老人保健施設	2名		死亡	3名
グループホーム	2名		医療機関	1名
計	8名		計	8名

資料7 要介護度別利用人数



(単位：人)

	入所延人数					満床人数	空床数	充足率
	介護 2	介護 3	介護 4	介護 5	計			
4 月	30	344	420	690	1,484	1,500	16	98.9%
5 月	31	320	479	692	1,522	1,550	28	98.2%
6 月	30	300	480	690	1,500	1,500	0	100.0%
7 月	31	310	496	713	1,550	1,550	0	100.0%
8 月	31	279	527	713	1,550	1,550	0	100.0%
9 月	30	300	457	700	1,487	1,500	13	99.1%
10 月	31	300	496	713	1,540	1,550	10	99.4%
11 月	30	300	432	709	1,471	1,500	29	98.1%
12 月	31	310	434	775	1,550	1,550	0	100.0%
1 月	31	279	470	756	1,536	1,550	14	99.1%
2 月	29	261	435	725	1,450	1,450	0	100.0%
3 月	31	257	434	837	1,559	1,550	0	100.0%
合計	366	3,560	5,560	8,713	18,199	18,300	101	99.4%
平均	31	297	463	726	1,517			
構成割合	1.9%	19.6%	30.6%	47.9%	100.0%			

・入所者数は、月末時点の数字。

・定員 50 名

資料 8 事故件数

種別	本館 2 階	本館 3 階	新館	計
転倒	12	13	5	30
転落	8	22	4	34
擦過傷等	0	4	1	5
異食	1	2	0	3
誤嚥・誤飲	0	1	2	3
誤薬	1	1	1	3
骨折	0	1	1	2
打撲・捻挫等	0	0	1	1
その他	2	3	2	7
合計	24	47	17	88